



# 西宮だより

発行 杉並区立西宮中学校  
令和6(2024)年度1月号

<http://www.suginami-school.ed.jp/nishimiyachi/>

## 《教育目標》

- ◇心豊かな人
  - ◇自ら学ぶ人
  - ◇健康な人
- 『自主自律』の精神

## 予測困難な時代に求められる力を養える学校に 校長 宮崎 宏明

新しい年が始まりました。令和7(2025)年は乙巳(きのと・み)です。乙は「きしむ」を意味し、困難があっても紆余曲折しながら進むことやしなやかに伸びる草木など、未だ発展途上の状態を表しているそうです。

一方、巳(へび)は脱皮して成長するため「再生と変化」を表します。よって乙巳は、努力を重ね、物事を安定させていく「成長と結実」の年だとも言われています。そんな年に西宮生の成長を期待しています。



井の頭弁財天  
宇賀神

### ○ 最近の世の中を見てみると

毎年暮れに、生徒向け校長通信で1年間の主なできごとをまとめています。昨年はオリンピック・パラリンピックイヤーであったことはもちろん、米大リーグでの大谷翔平選手の活躍などもあり、スポーツ界が大いに盛り上がりました。その一方で元日から石川県能登地方で大きな地震が起り、翌2日には羽田空港で航空機同士が衝突する大事故が起るなど波乱の年明けとなりました。

自然災害はどうしようもない側面もありますが、今日世界中で危惧されている地球温暖化と、その影響と思われる災害は、我々人間の活動によるものであると言われています。こうした災害は「〇〇年に一度の…」「かつて経験したことがない」などと言われながらも年々頻繁になり、その規模も大きくなっているように感じています。

政治の面でも、11月以降世界各地で大きな動きがありました。日本では衆院選挙の結果、15年ぶりに政権与党(自公)が過半数を割り、一部野党と協調せざるを得ない状況となりました。アメリカの大統領選挙では共和党が圧勝し、トランプ前大統領の再選が決まりました。世界中がその動静に注意を払っています。12月になると韓国や十数年内戦が続いたシリアで政権に関わる大きな動きが起きました。

誰もがこうした予想を上回る急激な変化に驚いているのではないでしょうか。

### ○ 子どもたちが直面するVUCAの時代

最近「VUCA(ブーカ)の時代」という言葉をよく耳にします。Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)の頭文字をとった造語で「先行きが不透明で、予測困難な時代」といった意味だそうです。もともとはソ連崩壊後にアメリカの軍人が使いだした言葉のようですが、近年はビジネスや教育の世界でも使われるようになり、こうした時代を見据えた対応が求められています。

現行学習指導要領では、「VUCA」という言葉を直接使わないながらも、「改訂の経緯」の冒頭には「今の子供たちやこれから誕生する子供たちが、成人して社会で活躍する頃には、我が国は厳しい挑戦の時代を迎えると予想される。生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境は大きく、また急速に変化しており、予測が困難な時代となっている。また、急激な少子高齢化が進む中で成熟社会を迎えた我が国にあっては、一人一人が持続可能な社会の担い手として、その多様性を原動力とし、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していくことが期待される」と書かれています。

### ○ VUCAの時代を主体的に生きていくために必要な資質・能力とは?

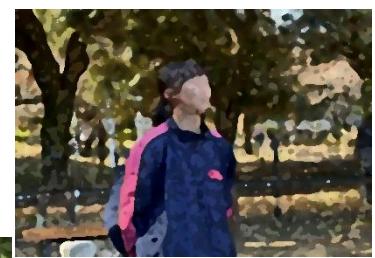
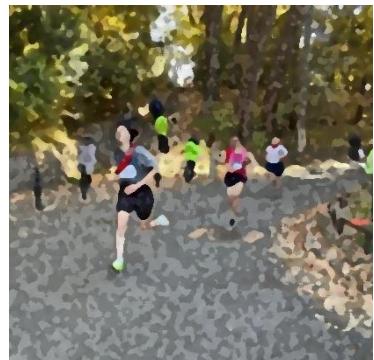
かつての学力観で重視されたのは「リテラシー」でした。ある分野の知識・技能やそれを活用する能力であり、様々なテスト等で直接問われるような力を想像されるとよいかもしれません。今世紀が始まったころから経済開発協力機構(OECD)を中心に、こうしたリテラシーに加え、情報収集能力や問題解決能力、人間関係形成能力など自分の持つ能力を活用して成果につなげる力「キー・コンピテンシー」を重視するようになりました。そして今、自ら考え、主体的に行動して、責任をもって社会変革を実現していく姿勢・意欲「エージェンシー」が注目されるようになってきています。

「キー・コンピテンシー」も「エージェンシー」も体験により強化されると考えられています。西宮中はそんな体験が重ねられる学校でありたいと思っています。

## 杉並区中学校駅伝大会



毎週火曜金曜 7:40 から、  
サポートメンバーも含め、  
朝練習を行いました！  
みんなで声を掛け合い、切  
磋琢磨している姿が素晴ら  
しかったです！



今年の杉並区中学校駅伝大会では、女子は2連覇を達成できませんでしたが、8位入賞することができました。第2区では区間賞を取り、入賞に大きく貢献してくれました。男子は今年度から導入された、昨年度の記録から算出されたタイムより早く走ることのできたチームに贈られるチャレンジ賞に選ばれました。惜しくも入賞することはできませんでしたが、昨年から順位を上げ、9位を獲得しました。この結果は一緒に練習してくれたサポートメンバーやたくさんの応援があったからこそだと思っています。応援してくださった皆さん本当にありがとうございました。また走ったメンバーや補欠、そしてサポートメンバーの皆さんお疲れさまでした。

(保健体育科)

## 落ち葉掃きプロジェクト（生徒会）

12月3日（火）から6日（金）、12月9日（月）の計5日間、生徒会本部役員と、ボランティアの生徒による校庭や正門の落ち葉掃きを行いました。1日30分程度の活動ですが、生徒会本部役員が中心となり指示を出しながら、ボランティアとして参加した生徒も黙々と作業を行っていました。5日間多くの生徒が参加してくれたおかげで、校庭の落ち葉はとても少なくなりました。ボランティア活動を通して、日頃掃除をしてくださっている主事さんにも感謝の気持ちをもてたと思います。（生徒会担当）



## 中学生レスキュー隊訓練

12月20日（金）の放課後、本校の中学生レスキュー隊員が、西宮中震災救援所連絡会会长の指導を受けて訓練を行いました。まず、災害時に校内の水道が断水した場合に、井戸から生活用水を確保する訓練を行いました。次に井戸から汲んだ水を使い、トイレの水を流しました。生活用水の確保の重要性について学ぶ機会となりました。

（レスキュー隊担当）



## 小笠原自然体験交流結団式

12月3日（火）、杉並区役所にて令和6年度杉並区中学生小笠原自然体験交流事業（第13期）の結団式が行われました。今年度は、本校から1年C組の生徒と2年A組の生徒が派遣生徒として選ばれました。

これから事前学習を行い、3月の出発に向けて準備を進めます。派遣期間は令和7年3月19日（水）から24日（月）までの5泊6日です。多くのことを学んで、成果を学校にもち帰ることを期待しています。（副校長）



## 能楽ワークショップ 第3学年

毎年3学年を対象に実施している能楽ワークショップですが、今年度も講師として、公益社団法人能楽協会会員シテ方金春流の先生方をお招きして開催しました。

今年度は、各代表者が面（おもて）、舞の体験を、全体で謡の体験をしました。舞の代表者は40分という短い時間の中で「羽衣」という能の一部を覚え、体育館で披露しました。普段、なかなか触れることのできない能の体験でしたが、3年生も興味津々でした。能楽ワークショップの目的である「能に親しむこと」と、「謡の発声や節回しなどの特徴を聞き取り、面や演技と関わらせながら能を味わうこと」についてとても満足のいく内容で、3年生が楽しくワークショップに参加する姿が印象的でした（3学年）



### 《1月の主な行事予定》

- 7日（火）冬季休業日 終
- 8日（水）始業式 学年時間割
- 10日（金）生徒対象教育調査
- 13日（月）成人の日
- 15日（水）避難訓練
- 20日（月）全校朝礼 安全指導 専門委員会
- 21日（火）中央議会
- 22日（水）学年会

- 24日（金）英語検定
- 25日（土）ウィンターコンサート
- 27日（月）生徒会朝礼 校内研修会
- 28日（火）移動教室前健康診断（2年）
- 29日（水）職員連絡会
- 31日（金）朝学習 国（1年）英（2年）数（3年）漢字検定

行事予定に変更がある場合は、totoru、または書面等で、速やかにご連絡いたします。